

令和7年度 第3回学校運営協議会会議録 神奈川県立上溝南高等学校			

日 時	令和8年3月19日(木) 16時00分～17時00分		
場 所	会議室	出席者 (敬称略)	運営協議会委員 委員 3名
司 会	教頭		本校 校長 副校長 教頭 事務長
記 録	副校長		総括教諭 6名
<p>1 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度最後である。まとめをしていきたい。 <p>2 校長あいさつ(校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度最後の開催となった。今回のメインは県に提出する学校評価報告書の内容の確定である。 また、4月中に次年度の目標を設定する必要があるため、次年度の第1回協議会は4月を予定している。 <p>3 令和7年度 学校評価報告書(実施結果) 達成状況、課題・改善方策等</p> <p>(1) 教育課程、学習指導</p> <p>①-1、①-2【学務情報：鈴木】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定校事業については、これから3年間も「授業力向上推進重点校指定校」となった。新たな研究目標「学ぶ意義」「エンゲージメント」を設定し、研修も行ったので、来年度も引き続き推進していく。 再編・統合を見据え、新教育課程の検討に入る。 AIの活用についても積極的に取り組んでいきたい。 <p>②【生徒活動支援：末木】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒主体での学校行事の企画・運営を通して生徒の成長を図ることを目標とした。体育館改修で、文化祭で体育館が使用できなかつたりしたが、生徒が積極的に行事に関わってくれた。 <p>(2) 生徒指導・支援</p> <p>①【学校生活支援：嶋崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートドックは2年目となり、計画的に進められるようになったが、SC・SSWとの連携の下、スクリーニング会議の設定等は時間的に苦しいところがある。 生徒支援については、家庭の理解が得られないケースなどもあったが大きな課題になる前に手を打つことができたと感じている。 今年度は交通事故件数が22件だった。決して少ない数字ではないが、重大事故は発生しなかった。 青切符の導入等道路交通法改正を含めて、交通安全について入学予定者に説明を行った。在校生についても、修了式・始業式で話をし、交通安全への意識を高めていきたい。 <p>②【生徒活動支援：末木】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率向上、成果向上を目標とした。 部活動加入率は高止まりという状況で、全体では84%、運動部のみでは54%であった。 部活動は、新入生がより部活動への理解を深めて、安心して入部・活動できるようにオリエンテーションのあり方等を検討し、来年度から実施する。 <p>(3) 進路指導支援【キャリア支援：齋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①については主にClassiを活用した週末課題の実施を家庭学習の定着を図り、適切な時期にガイダンスを実施することで進路活動の助けとした。 家庭学習の定着度が低く、Classiも週末課題でしか利用していない生徒が多く、自主的な利用や自発的な家庭学習には至っていない。職員にも機能を周知し、様々な場面での利用を促進していくことで、家庭学習の定着化を目指したい。 学校運営協議会委員会のご助言を受けて「卒業生講話」を実施した。生徒からは「大学生の学びにつ 			

いて理解ができた」「卒業後の進路を考えることができた」と、好評であった。

- ・校内模試を3回実施するなど、一般受験に向けての支援を充実させ、一般受験が50名増加した。より効果的な進路指導が行えるように検討していく。

(4) 地域等との協働【広報連携：柳谷】

- ・地域連携実行委員の生徒が中心となって活動している。より自主的能動的に活動できる生徒の育成が課題である。
- ・公式Instagramアカウントを開設し、現在フォロワーは2214人で県立高校としては非常に多い。学校内の活動や本校の魅力が伝わるよう、工夫して運用していきたい。
- ・創立50周年記念事業では、記念映画の製作や記念誌の作成ができた。

(5) 学校管理・学校運営【総務管理：篠崎】【副校長】

- ・防災では、DIG訓練を行い、生徒は楽しく取り組み、肯定的評価が90%以上であった。今後は、自ら行動できる生徒の育成が課題である。
- ・環境美化については、クリーンチェックを清掃美化委員が行い、校内の美化に努めた。生徒のアンケートでも80%以上が肯定的であった。今後は点検項目を検討し、生徒の環境美化意識向上に働きかけていきたい。
- ・オフィス改善で職場環境は整備できたが、業務軽減はまだである。来年度に取り組んでいきたい。
- ・事故不祥事は防止できた。

4 学校運営協議会委員から学校の取組についてのご意見等

学校関係者評価

委員：・学校目標として掲げた理想の学校に近づいている。

- ・現在の教育課程の課題を洗い出して、新教育課程作成を進めてほしい。
- ・「上南指導メソッド」について、知りたい。また、指定校事業の研究結果を知りたいので、資料を後日見せてほしい。
- ・中学校では、特別活動や部活動が縮小傾向である。古き良き活動とのジレンマがある。上溝南高校は活動が活発である。高校としての在り方を議論して行ってほしい。
- ・一般受験に挑戦する生徒が増えたことは良い。自分の子供も一般受験で合格できた。
- ・生成A1の活用を考える必要がある。「生成A1で学ぶ」ではなく、「生成A1と学ぶ」ことを視点にするとよい。
- ・部活動はさらに活動の在り方を考え、活発化させてほしい。
- ・かながわサポートドックは、プッシュ型面談がポイントである。活用してほしい。
- ・再編・統合は、チャンスである。ネクストハイスクールが唱えられている。理系50%以上は普通に判断すると無理だが、理系の概念を越えて考えてほしい。例えば、家庭科は栄養学と考えれば、理系である。さまざまな考え方を工夫していく必要がある。
- ・ネット環境は整わないが、ICT活用に取り組んでほしい。

校長：・KPIやアクションプランについて、ご意見をいただいたが、学校現場では数値化できないところもあり、難しい。また、アクションプランは、学校目標に対して別プランを立てるイメージになってしまうので、取組は難しいことをご理解いただきたい。

5 令和7年度不祥事ゼロプログラムの検証【副校長】

- ・大きな事故不祥事なく、無事に年度を終えることができた。

6 その他

- ・令和8年度年間行事は別紙のとおり。
- ・令和8年度第1回学校運営協議会は4月22日(水)15:50～

以上